

Plan

事業名	火葬場管理運営事業			事業類型	施設管理	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	4款	1項	3目		事業1	138	事業2	277
担当部署	部	環境部			課	環境課			
総合計画体系	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-③快適な住環境をつくる			
事業の目的	最後のお別れの場にふさわしい施設として、適正な維持管理を行い、円滑な火葬業務の運営に努める。								
事業の概要	火葬予約の受付 施設、設備等の維持管理								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績	事業費(千円)		当初予算額	決算額
		○設備の保守点検費 ○火葬業務委託	財源内訳	国庫支出金	0
		県支出金	0	0	
		市債	0	0	
		その他	1,876	1,876	
		一般財源	14,854	14,720	

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
	判定	判定理由					
事業の評価	必要性						
	有効性						
	効率性						
	総合評価						

Action

今後の方針	内容	
事業費 維持	委託の方法について閉鎖時期や新居斎場も含めて検討を行う。	

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	○設備の保守点検費 ○火葬業務委託	○設備の保守点検費 ○火葬業務委託	○設備の保守点検費 ○火葬業務委託
事業費(千円)	50,807		

Plan

事業名	新居斎場管理運営事業			事業類型	施設管理	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	4款	1項	3目		事業1	138	事業2	278
担当部署	部	環境部		課		環境課			
総合計画体系	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち		基本計画		5-③快適な住環境をつくる			
事業の目的	最後のお別れの場にふさわしい施設として、適正な維持管理を行い、円滑な火葬・斎場業務の運営に努める。								
事業の概要	火葬予約の受付 施設、設備等の維持管理								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績	事業費(千円)		当初予算額	決算額
		○設備の保守点検費 ○火葬業務委託	財源内訳	34,385	35,153
		国庫支出金	0	0	
		県支出金	0	0	
		市債	0	0	
		その他	34,385	35,153	
		一般財源	0	0	

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
事業の 評価	判定	判定理由					
	必要性						
	有効性						
	効率性						
	総合評価						

Action

今後の方針	内容
事業費 維持	委託の方法について入出火葬場も含めて検討を行う。 集約後を考え、火葬の枠について予約が分散するよう利用者に周知理解を求める。

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	○設備の保守点検費 ○火葬業務委託	○設備の保守点検費 ○火葬業務委託	○設備の保守点検費 ○火葬業務委託
事業費(千円)	113,724		

Plan

事業名	斎場整備事業			事業類型	ハード	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	4款	1項		3目	事業1	138	事業2	279
担当部署	部	環境部			課	環境課			
総合計画体系	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-③快適な住環境をつくる			
事業の目的	新居斎場を利便性の高い施設とするため、斎場周辺の環境を整備する。								
事業の概要	新居斎場周辺道路の整備 地元からの要望事項の対応								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績	事業費(千円)		当初予算額	決算額
		○用地買収	財源内訳	0	0
		国庫支出金	0	0	
		県支出金	0	0	
		市債	0	0	
		その他	0	0	
		一般財源	6,102	9,658	

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
事業の評価	判定	判定理由					
	必要性						
	有効性						
	効率性						
	総合評価						

Action

今後の方針	内容
事業費 維持	工事担当課と連携し、定期的に工程会議を開催し、用地交渉等の徹底した進捗管理を行う。

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	○用地交渉	○用地(公社から買戻し) ○道路工事	○道路工事 ○駐車場設計
事業費(千円)	75		

Plan

事業名	し尿処理事業費			事業類型	法定(裁量含む)	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	4款	2項		3目	事業1	149	事業2	304
担当部署	部	環境部			課	廃棄物対策課			
総合計画体系	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-③快適な住環境をつくる			
事業の目的	し尿収集を効率的に進め、衛生環境の向上と公共用水式の水質保全を図る。 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)								
事業の概要	市内汲み取りトイレの計画収集を実施し、衛生プラントへの運搬を円滑に実施する。 し尿汲み取り件数 11,778件 し尿収集量 1,910kℓ								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績		事業費(千円)		当初予算額	決算額
	し尿汲み取り件数	10,996件	財源内訳	国庫支出金	0	0
し尿収集量	1,611kℓ	県支出金		0	0	
		市債		0	0	
		その他		24,573	23,079	
		一般財源		165,659	153,295	

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
		汲み取り適正実施率(%) ※適正処理件数/申請件数			100	100	100
事業の評価	判定	判定理由					
	必要性	A	汲み取り世帯は年々減少しているが、衛生環境を維持するために、今後も市民からの依頼に対する確に対応する必要がある。				
	有効性	A	当面は現在の体制を維持してし尿収集運搬を行っていく。				
	効率性	B	効率的なし尿収集計画の検討が必要である。				
総合評価	A	事業規模・対象者等は縮小傾向にあるものの、し尿収集運搬体制を整備し、今後も事業を継続して行っていく。					

Action

今後の方針	内容
事業費 維持	衛生環境を維持するために、事業の処理方法の効率性を高めながら、自治事務として今後も継続して事業を行っていく。

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	・し尿収集運搬 ・し尿汲み取り件数 約11,000件 ・し尿収集量 約1,600kℓ	・し尿収集運搬 ・し尿汲み取り件数 約10,500件 ・し尿収集量 約1,550kℓ	・し尿収集運搬 ・し尿汲み取り件数 約10,000件 ・し尿収集量 約1,500kℓ
事業費(千円)	461,400		

Plan

事業名	し尿処理費			事業類型	施設管理	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	4款	2項		3目	事業1	150	事業2	305
担当部署	部	環境部			課	廃棄物対策課			
総合計画体系	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-③快適な住環境をつくる			
事業の目的	し尿や浄化槽汚泥の処理を適切に進めるため衛生プラントの効率的な運営に努めるとともに市内の衛生環境の向上と公共用水域の水質保全を図る。(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第6条の2)								
事業の概要	衛生プラントの安全かつ効率的な管理運営を実施する。								

Do

事務事業評価

平成29年度	設備修繕、設備点検整備を実施した。	事業実績		当初予算額	決算額
		事業費(千円)		121,615	114,573
		財源内訳	国庫支出金	0	0
			県支出金	0	0
			市債	0	0
			その他	1	0
一般財源	121,614	114,573			

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
事業の評価	判定	判定理由					
	必要性						
	有効性						
	効率性						
	総合評価						

Action

今後の方針	内容	
事業費	維持	大規模改修が完了したが、施設を適切に運営するためにも継続的な維持管理が必要である。

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	設備点検及び修繕(包括契約H30-34)	設備点検及び修繕(包括契約H30-34)	設備点検及び修繕(包括契約H30-34)
事業費(千円)	387,348		

Plan

事業名	環境保全調査指導事業			事業類型	ソフト	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	4款	3項		1目	事業1	151	事業2	306
担当部署	部	環境部			課	環境課			
総合計画体系	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-③快適な住環境をつくる			
事業の目的	市民の健康保護及び生活環境の保全のため、環境調査を実施し、公害防止の早期指導を行う。								
事業の概要	市民生活の基本となる「環境」を保全するため、河川水質調査、騒音測定等の分析調査を行う。								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績	事業費(千円)		
		当初予算額	決算額	
自動車騒音常時監視に係る騒音調査及び面的評価業務委託 環境測定水質調査業務委託(管理河川、河川通日調査、河川流域調査)	財源内訳	14,995	5,845	
		国庫支出金	0	
		県支出金	0	
		市債	0	
		その他	0	
		一般財源	14,995	5,845

Check

成果指標	成果指標名(単位)		H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
		水質汚濁の環境基準達成率(%)		100	100	100
事業の評価	判定	判定理由				
	必要性	A	法に基づいた調査である。			
	有効性	B	調査結果により環境対策を考えていく。			
	効率性	B	調査機器は高価であるため調査は委託業務である。			
総合評価	A	水質汚濁防止法、騒音規制法、大気汚染防止法、悪臭防止法に基づいて調査していく。法に基づき規制する必要がある。				

Action

今後の方針	内容	
事業費 維持	調査の必要性や精度を確認しつつ簡略化が可能であれば簡略化し経費を抑えていく。	

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	①水質測定調査 (管理河川・流域・通日・緊急) ②騒音測定調査 (自動車・環境騒音) ③臭気測定調査 (緊急)	①水質測定調査 (管理河川・流域・通日・緊急) ②騒音測定調査 (自動車・環境騒音) ③臭気測定調査 (緊急)	①水質測定調査 (管理河川・流域・通日・緊急) ②騒音測定調査 (自動車・環境騒音) ③臭気測定調査 (緊急)
事業費(千円)	20,243		